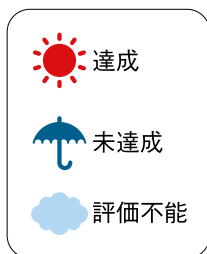




コープさっぽろ エコプロジェクト2009の結果

コープさっぽろでは、'08年度に「エコプロジェクト21」として、22のテーマの実践に取り組み、環境の保全・改善に大きな成果をあげました。エコプロジェクト21で得た経験を活かし、さらに積極的に環境の課題に取り組むため'09年度は「エコプロジェクト2009」として新たに19のアクションプランを掲げました。ここでは、その取り組みの結果をまとめ、ご報告いたします。

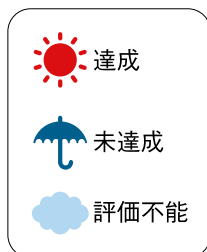


2009年度 環境活動テーマ	アクションプラン	評価	評価の根拠
組合員と 共に進める 新しい地域づくり (環境保全)へ 貢献する	コープ未来(あした)の森づくり基金のもと、植樹活動を全道で積極的に推進します	☀️	全道での漁協さんとの共同植樹が計画通り進み、独自の植樹活動も各自治体と協定を結び、次年度以降の準備が整いました。また、8地区で組合員の森林とのふれあい企画を実施。さらに全道24団体とぎょれんさんへ助成を実施し、新たなネットワークを築きました
	行政と共に家庭用ごみの20%削減をめざします	☁️	コープ会メンバーを中心にごみダイエットに取り組みました。宅配ではダンボール、発泡トレイ、新聞紙などの回収もスタートしました
	ご近所野菜など、地産地消の取り組みをさらに推進します	☔️	農業賞を前面に押し出す企画が弱く、「農業賞・ご近所野菜」の供給構成比15%の目標には届きませんでした
	家庭用代替エネルギーの研究および普及を推進します	☀️	北海道生協連のテキストを使って各地区で学習会を実施。太陽光パネルの取り扱いも開始しました
	環境への意識を高めるため全道でエコ体験企画ならびにエコ学習に取り組みます	☀️	「エコ生活」「エコチャレンジ」「子ども向けエコチャレンジ」で目標以上の参加者数達成
	カーボンフットプリントの研究を進め、システム化に取り組みます(室工大との共同研究)	☀️	カーボンフットプリントの表示を全国に先駆けて実施
	家庭でできる省エネによる排出削減量をまとめることにより、新たに事業化(排出枠取引やカーボンオフセットなど)できるしくみを検討します	☀️	シロクマランドのエコチャレンジ宣言に2,500名の組合員が参加
	廃棄物の削減と リサイクルの徹底で 循環型地域社会 づくりに貢献する	エコセンターの活用を拡大し、店舗と宅配事業の収益向上に貢献します	☀️
食品残渣リサイクル事業を本稼働させます		☀️	'10年度実現に向けた検討が進んでいます
宅配BDF(廃食油を活用したバイオディーゼル燃料)車両を拡大します		☀️	日本一のBDF車両台数240台を達成。今度は世界一(ギネス申請)をめざします
環境の取り組みを生協以外にも大きく広げるために、サプライヤーの皆さんの環境の取り組みについて集約し、情報交流します		☀️	取引先の環境取り組みも進んでおり、共同できることが拡大

2009年度 環境活動テーマ	アクションプラン	評価	評価の根拠
事業分野での 10%の効率改善に チャレンジし 環境負荷軽減へ 貢献する	包装資材、配送資材の減量に取り組みます	☀️	生鮮センターにノートレーパッカーを導入。また、ダンボール使用をコンテナ等に変更し減量。生鮮トレイは総重量は減らなかったものの点数単位では目標達成
	コスト削減対策で18%台の販管費実現のためのランドデザインを決め本格稼働させます	☔️	「見えタロー」のしくみ導入から1年が経過し、電気使用量の削減については目標達成できず、新たなしくみづくりが求められます
	店舗在庫を6億円削減します('08年11月の店舗在庫は63億円)	☔️	4億円の在庫を削減するも目標は未達成。廃棄率は大きく改善
	店舗の建築におけるCO2半減化と運用におけるCO2半減化について研究します(室工大との共同研究)	☀️	'10年度秋に木造のエコ新店舗を計画
	石狩食品工場、生鮮センターにおけるCO2の排出30%削減の対策を研究します(室工大との共同研究)	☀️	リニューアルなどで研究結果を活かします。室工大とは新規の共同研究の契約を結びました
	物流システムの再整備を検討します(東京海洋大学との共同研究)	☀️	江別センターからの一括物流を地方に分散させることなどを検討中
	物流トラックのノンフロン化を本格稼働させ、温暖化ガスの排出削減に取り組みます	☀️	ダイナミックアイス導入で予想を超える燃費改善を実現
	国の試行排出量取引スキームへ参加します	☀️	小売業者として唯一の参加を実現



コープさっぽろの 環境目的と目標・結果



'09年度は、エコプロジェクト2009のアクションプランを中心に取り組みましたが、その他の環境目的と目標・結果についても整理しましたのでお知らせします。

環境目的	2009年度環境目標	評価	評価の根拠
ノーレジ袋運動参加率85%	ノーレジ袋運動参加率83%	☀️	'10年3月のノーレジ袋運動参加率は88.5%となっています
エコセンターを'08年度運用開始し、有効性評価を行い、'09年度数値測定を行い、以降の目標設定を行う	店舗に廃棄物重量測定用の秤を導入し、測定する	☀️	99店舗中86店舗にエコ秤を導入し計量を開始しました。このことによりコープさっぽろで出る廃棄物や資源物についての総量を把握することができました
'10年度までに原単位(供給高1億円)あたりのCO2排出量を'07年度対比5%削減する	原単位あたりのCO2排出量を2%削減する	☀️	原単位あたり3%の削減を達成することができました。店舗で「見えタロー」などの取り組みを継続して取り組んでいることや、環境的に優れた新店を建設していること、BDFを使って宅配車両を走らせていることなどが達成の要因です